

稲門やま

発行所 早稲田大学大和稲門会
 発行人 会長 石川 公弘
 〒242-0006 神奈川県大和市南林間 4-9-10
 事務局長 宮崎 顕
 TEL・FAX 046-274-6169
 編集人 宮崎 顕 瀧本幸男 児浦義文

早稲田大学大和稲門会会報第39号

快晴の下で家族バーベキュー大会開催

恒例の 2018 年度バーベキュー大会が 9 月 9 日 (日) 開催されました。

日本中が大雨になったり、北海道では震度 7 の地震で被害が出たりと、心の痛むニュースが続いた数日間でしたが、ここ「大和市泉の森公園」は青空の下で大和稲門会の会員、藤沢稲門会、相模原稲門会、大和三田会、大和桜門会、大和白門会の各会員らが集い、例年のようにバーベキュー大会が開催されました。



大和稲門会会長の石川公弘氏の開会挨拶に続いて、各地域校友会の代表者の挨拶、新人の紹介などが賑やかに行われ、テーブル席ではビール等が早々と開けられていきました。



つづいて火起こし役、食材の準備役そして焼き担当の奮闘もあって、牛肉、野菜、イカやイワシなどの海産物などもきれいに焼き上がり、皆は配られた料理に舌鼓を打ちました。

会場の周りには大きな木がうっそうと茂り、暑い日差しを適度に遮ってくれ、樹林の間を抜けて吹いてくる風が実に爽快な気分にさせてくれます。会場の笑いの響く中、豚汁、焼きそばも出て、さらに我々の腹を満たしてくれました。



華やいだ雰囲気ですりや会話が進む中、甘利明衆議院議員が到着し会場の雰囲気は最高潮に。ご挨拶の後では三々五々の写真撮影にも快く応じてくださいました。全員揃ったところで写真を撮りましたが、あの小さなカメラでも意外と良く撮れていますね。さらに歓談の後、名残を惜しみながら来年の再会を約してお開きとなりました。

市民劇団演劇やまと塾第 26 回公演

ミュージカル「オズの魔法使い」を終えて

水野 昂子 (昭 35 年 文学部卒)

今年の「やまと塾」本公演「オズの魔法使い」は、お盆明けの 8 月 19 日 (日) 大和市保健福祉センターで無事、公演を終えた。毎年会場へ足を運んでくださるお客様の数も増え、昼・夜合計のチケット入場者数は 620 名、他にボランティアの方々も多数見てくださり、会場は熱気に包まれた。夏休み中でもあり、子どもさんの姿も多かった。「オズの魔法使い」は、映画の主題歌「オーバーザレインボウ」でもよく知られている。灰色の空と大地、広大な荒野が広がるアメリカ、カンザス州。黙々と働く農夫婦のヘンリーとエム。単調で、農作業に追われる夫婦のもとにやってきたのが、物語の主人公となるドロシー。彼女は夫婦にとって、日常生活に変化をもたらす唯一の希望だった。そのドロシーが、襲来した竜巻に家もろとも巻き込まれ空のかなたへ飛んで行ってしまふ。ドロシーがたどりついた先はオズの国。不思議なオズの世界で、ドロシーは冒険の旅をする。ドロシーの仲間のかかし、ブリキのきこり、ライオン。他に登場するのは悪い魔女や良い魔女のグリムダ。囚われのマンチキン、モンキング、ウインキーなど。そして、謎の人物オズの正体は・・・



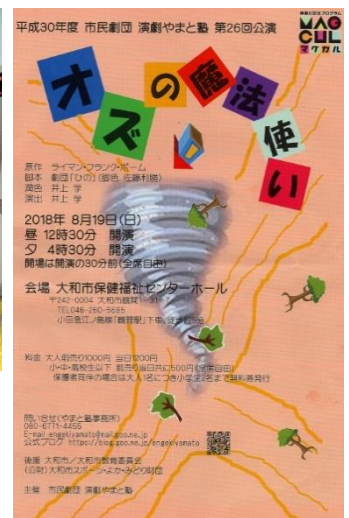
舞台を終えて、後列左端が筆者

脚本は、劇団「ひの」が長年公演を続けている作品をベースにし、井上学さんの潤色・演出での公演だった。井上さんのやまと塾での演出は、今年が 5 年目。演出助手に塾生顧問佐竹さんがあたったことも、特筆すべきことで、塾生による舞台づくりへの自立が高まった。今夏、酷暑の中、佐竹顧問の家をお借りし、小道具、大道具作りにも精を出した。七組の木枠を自在に変化させて、竜巻や、農場、お花畑等オズの世界を表現するための道具づくりは、思い出に残るものである。今回は演劇やまと塾がストレートプレイから脱し、初めてミュージカルへ挑戦した作品でもある。歌唱指導を富田康子先生、ダンス指導を乾智恵先生にお願いし、唄・ダンス・演技の稽古を重ねた。まだ中学生の塾生がドロシー役を魅力的に演じ、塾生 15 名がみな力と知恵を出し合いドロシーを支えた。乾キッズダンスクラブの皆さんの出演協力もいただき、華やかな舞台となった。



舞台を終えた劇団員と大和稲門会会員たち

公演を終え、お客様に何らかのメッセージを伝えることができたと感じている。観客の反応もよく、「楽しめた」「よかった」との声も多く聞かれたのはうれしいことである。



箱根駅伝について思うこと

小澤 重晴 (昭和 44 年理工卒)

早稲田大学付属高校 (早大高等学院) 時代の私は競走部に属し、先輩、後輩の中には大学の競走部関係者もいて、競走部の活動とりわけ箱根駅伝には人一倍興味を持っています。そこで、箱根駅伝に関する雑感を綴ってみたいと思います。

1. 箱根駅伝の魅力

箱根駅伝の正式名称は「東京箱根間往復大学駅伝競走」です。今年 (平成 30 年) 1 月に行われた箱根駅伝は第 94 回大会ですから、約 1 世紀近い歴史があることになります。

箱根駅伝のコースは往復 217.1km という長い距離が特徴です。東京大手町から箱根芦ノ湖までの往復 10 区間には、都会の道も、山登りや山下り (箱根の標高差は 864m) の道もあり、全体として変化を楽しめるコースになっています。このことは、同時に選手にとっては厳しいコースということでもあり、苦しそうな表情をしながら、激走するランナーの姿や、チーム一丸となってタスキを繋ぐその姿に私達は感動を覚えます。



復路スタート前の応援

2. 早稲田大学は箱根駅伝の雄

過去 94 回の箱根駅伝の歴史の中で早稲田大学の総合優勝回数は 13 回、これは全出場校中 2 位にランクされます。ちなみに 1 位は中央大学の 14 回、3 位は日本大学の 12 回です。最近の上位常連校である駒沢大学は総合優勝 6 回 (7 位)、東洋大学と青山学院大学は共に 4 回 (9 位) であることを考えると、早稲田大学の優勝実績は見事なものです。出場回数の方でも、早稲田大学は過去 94 大会中なんと 87 回に及びます。これも中央大学の 91 回に次いで 2 番目にランクされます。名実ともに早稲田大学は箱根駅伝の雄であるといえるでしょう。ちなみに、早稲田の良きライバル慶応大学は、総合優勝回数 1 回 (1932 年)、過去の出場回数は 30 回です。第 70 回 (1994 年) を最後に出場していませんが、早く戻ってきてほしい、と思っています。

3. 沿道の応援も楽しい

箱根駅伝のテレビ中継は正月の風物詩となっています。多くの稲門会の皆さんもテレビ観戦されていると思います。しかし、沿道 (国道 1 号) に足を運び“生”で応援すると、選手の走るスピード感や順位の距離関係、観衆の声援や小旗を振る音などの臨場感を強く感じ、応援もテレビとは違った楽しさが味わえます。

私は、数年前、スタート前の選手を応援しに大手町まで行ったことがあります。スタートは、午前 8 時ですが 30 分前に着くともう既に人、人、人です。そんな観衆の中で、各校の応援団のブラバンやチア・ガールによる応援合戦が繰り広げられていました。スタート付近数百メートルは満員電車の中の状態で、選手の姿をまともに見ることもできません。ようやく早稲田の応援コーナーに辿り着き、ブラバンに合わせて歌った応援歌「紺碧の空」の感動は今でもよく覚えています。

4. 復路のスタート

私は数年前、競走部 OB 主催の「箱根駅伝応援ツアー」に参加した際、大学競走部の選手、駅伝監督、コーチ等が泊る定宿“ホテルむさしや”に泊まり、監督・コーチと挨拶し、共に食事する機会がありました。



復路(第6区)のスタートは1月3日の午前8時です。私は、スタート前の選手の様子を見ようと早朝6時に起き、箱根の寒気の中を凍えながら旅館から復路スタート地点までを散策してみました。すると、既に各校の応援団がそれぞれの場所に陣取り、応援旗を掲げ、応援合戦をしているのです。早朝、そして寒い中を、チア・ガールはスカートとタイツ姿、男子の応援団員はガクラン姿で大声の応援を繰り広げています。

私はいままで、駅伝競技の中の応援団活動など思っても見なかったのですが、この様子を見て改めて応援部の存在を認識することができました。箱根駅伝の中で応援部は、1月2日には大手町での往路スタートと芦ノ湖でのゴール、そして翌1月3日には芦ノ湖の復路スタートと大手町のゴールで選手の応援をしています。その移動や、寒さ対策、そして早朝からの応援活動等を思うと、相当にタフな活動をしていることが良く分かりました。応援部の皆さん、本当に御苦労さまです。

5. 早稲田大学競走部

現在、早稲田大学競走部には118人(男90人、女28人)の部員がいます。競走部員は全員が所沢の寮に住まい、そこから授業に通っています。箱根を走りたいと入部する長距離選手は多く、部員の過半数は長距離陣です。走力に応じてAクラス、Bクラス、Cクラスと分けて練習を行っていますが、陸上トラックだけでなく、坂道や風の感触に慣れる意味で、実際の道路で行う場合もあります。箱根の5区(山登り)と6区(山下り)は特殊なコースなので夏季から箱根の実際のコースで練習する選手もいます。夏には集中合宿も行われます。

私は、現在早稲田大学の付属校の競走部OB会の役員をしていますが、目下2人の後輩が大学競走部で箱根を目指し頑張っています。この中の一人でも来年の95回箱根駅伝に出場できたら、と願っています。最近、青山学院大学の連続優勝など飛躍が続いており、東洋大学、駒沢大学、東海大学なども力をつけています。このような中、昨年の早稲田の総合順位3位は、立派だと思えます。しかし、スポーツの目標は優勝です。

大和稲門会の皆さん、来年(平成31年1月)は優勝できるよう箱根駅伝を応援しましょう。

新会員プロフィール (加藤晴夫)

昭48年理工学部電子通信学科卒
中央林間住まい

出身は千葉で高校は千葉高校、早稲田大学卒業まで千葉に住んでいました。大学では、理工学部電子通信学科で香西研に籍を置きました。

卒論は、「絶縁体の誘電率測定」という地味なテーマでした。就職先は住友電工で、主に通信事業部に属し、同軸ケーブル(CATV用、新幹線通信用)、通信ケーブル(銅、光ファイバー)の設計、製造、検査を担当しました。定年(60才)後は、管理事務を5年勤めて65才で完全リタイアしました。大和市には1984年6月に現住所に転居して、現在まで住んでいます。

リタイア後の現況は概略次の通りです。

- 健康維持目的で筋トレに週3回ほど通っていましたが、今夏は暑さで週に1~2回とダウン。
- 読書はもっぱら図書館利用で、ジャンルにとらわれず3~4冊/月。
- インターネットはタブレットを使用して、音楽ソフト、YouTube、メール等。最近ではAbemaTVで将棋にはまっています。
- 海外旅行は夫婦で2回/年程度、ヨーロッパ中心に行っています。



ヴェネチアにて (2016)

新会員プロフィール (田村幸雄)

昭和 44 年理工学部建築学科卒業
中央林間住まい

現在、中国・重慶大学・教授，かつ東京工芸大学・風工学共同研究拠点・名誉センター長兼プログラムコーディネータ。米国，ポーランド，中国，マレーシアの 15 大学で栄誉教授，客員教授を兼任。日本工学アカデミー会員，インド工学アカデミー・海外フェロー，中国工程院・外籍院士。国際風工学会 IAWE ・会長，国連・国際防災戦略 UNISDR 「風関連災害軽減国際グループ IG-WRRR 」議長，日本風工学会・会長，日本学術会議・連携会員，「気象庁・竜巻等突風の強さの評定に関する検討会」会長等を歴任。米国 ASCE ・ Jack Cermak メダル，同・ Robert Scanlan メダル，国際風工学会 IAWE ・ Alan Davenport メダル，日本建築学会・論文賞，日本風工学会・デザイン賞（東京スカイツリー），同・功績賞，中国・国家友誼獎，稲門建築会・特別功労賞等を受賞。



台湾高座会留日 75 周年歓迎大会参加のお願い

大和稲門会事務局長 宮崎 顕

大戦末期、労働力不足を補うため、8400 人余の台湾の少年たちが志願して日本本土に渡ってきた。平均 14、5 歳の彼らは、全国の航空機工場に派遣され海軍機の製造と整備に従事した。その高い技術と仕事への忠誠心は各地で称賛され、この年頃の日本人としては誰よりも勇敢に戦った。終戦を境に中華民国の国民となった彼らを待っていたのは厳しい戒厳令下の台湾だった。(石川氏著書「二つの祖国を生きた台湾少年工」前文より)

大和稲門会の石川公弘会長は 9 歳の年に、小学校長から海軍工廠寄宿舎舎監に転じた父上とともに大和の地に移り住み、少年工たちの働く様を見ていた。台湾へ帰った彼ら少年工たちは台湾での逆境にも拘わらず、日本で受けた温情を忘れなかった。日本と台湾の心の交流をはかる「台湾高座会」が設立され多くの台湾人家族もまた大和市／座間市を訪問した。この交流は以来途切れることなく現在まで活動が続いております。

しかし元少年工たちは既に 90 歳を迎え訪日も困難になってきており、残念ながら 75 周年を迎える本年 2018 年が最後になるかと思われまます。この機会に心温まる歓迎大会を開催することになりました。

つきましてはご関心のある方々には是非大会ご出席をお願い致したく存じます。

歓迎大会概要：

開催日： 2018 年 10 月 20 日（土）

(1) 10:30～ 台湾少年工（海軍軍属）顕彰碑除幕式 座間市芹沢公園（南林間駅よりバス）

(2) 13:30～ 歓迎大会・式典（先着 1000 名） 会費 3000 円

（式典、海上自衛隊音楽隊ほかが出演）

於：大和市文化創造拠点シリウス メインホール（大和駅から歩 7 分）

(3) 18:30～ 有志による歓迎の宴（定員 200 名） 会費 10,000 円

於：オークラフロンティアホテル海老名

問合せ先： 宮崎事務局長

パソコンのお遊びが立派な記念誌作りに

瀧本幸男 (昭和 39 年理工学部卒)

パソコンを使ってみると色々面白いことが出来ます。

私の住む地区は大和市の一番北部の中央林間ですが、そのさらに北の一画となる内山地区ではパソコンに慣れた人はほとんどいない状況でした。特に 2011 (平成 23) 年に市長の指導で各コミセンとも「創立 20 周年記念誌」を発行することになり、私が「どうしたらいいでしょうか」と中央林間コミュニティセンターの女性指導員から相談を受けたときは操作の出来る人はほとんどいませんでした。

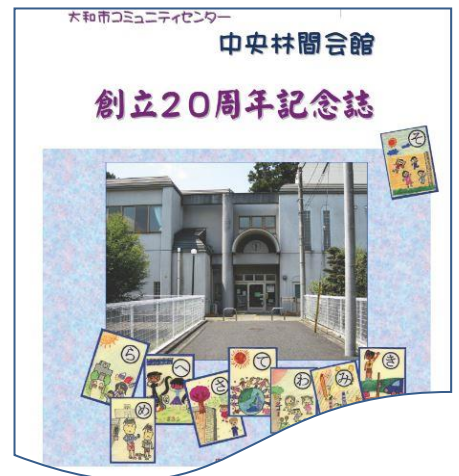
出来栄えは市内 20 カ所の全てのコミセンの競争になるとの恐怖の言葉に押されて、是非とも内容も出来栄えもトップを取りましよう、「宣言」してしまいました。

全体的内容、祝辞と挨拶 (3 編)、会館の特徴、毎年の年間行事に合わせた多数の写真・・・が集まりました。さあ作戦開始。足りない写真の撮影や地図作成はすぐに、またゲラ刷りに対する編集委員たちの厳しいコメントとともに新たな発見もありました。

一番の発見は館内に保存されていた児童達の素晴らしい作品類でした。子供体がつくったオリジナルの「大判カルタ」、手作り「ミサンガ」などなどで、早速写真に収め各ページの隅々まで飾ることになりました。

冊子で使用する文字はサイズだけでなくフォント選びや色選びにも気を遣い、また写真に付ける説明にも若い職員たちの女性コトバを採用して微笑ましいものにしました。写真等のレイアウトも苦心しました。印刷所の障がい者施設「共働あるむ」とも打合せ、使用できるフォントも特別に追加してもらいました。

こうして出来上がった冊子を手にしたときの感慨は無量でした。関係者みなで心の底から満足感が湧いてきたことを思い出します。もちろん評価点などは付けませんでしたが、全 20 館の記念誌のなかで絶対に一等賞だと自慢できる結果でした。 下記に出来上がった冊子の一部ページを示します。



当会のパソコンゼミで皆と一緒に勉強しよう

館内施設の紹介

大和市 中央林間会館

お電話にお立ち寄りください

大和市 中央林間会館
コミュニティセンター

10:00~12:00
受付時間
12:00~17:00
19:00~17:00
なし

242-0001 大和市
下鶴野4444-2
電話 0449-279-8121
e-mail: cc@chuo-rinma.or.jp

毎月 1日 - 15日
* 休館日の場合は曜日
* 詳細は会報へお問い合わせ下さい

大和市 中央林間会館
コミュニティセンター
(中継3号機)

242-0001 大和市
下鶴野4444-2
電話 0449-279-8121
e-mail: cc@chuo-rinma.or.jp

おのしい 大和なす

- 11 -

大和稲門会春のハイキング (三溪園散策)

平成 30 年 5 月 29 日

恒例の春のハイキングは、平成 30 年 5 月 29 日(火)横浜の名所「三溪園」散策としました。

ここは東京専門学校(現早稲田大学)で政治・法律を学んだ後に、生糸輸出など実業家として財を成した「原三溪翁」が私財を投じて古建築の移築や収集した美術品を展示公開するために開園(現在横浜市に移譲・寄贈)したものです。この散策には石川会長以下 11 名が参加しました。(うち 2 名は藤沢稲門会会員)



参加者全員写真

当日は予め予約しておいたボランティアガイドの鈴木さん(85歳、三溪園のガイド歴 20 数年)が案内をしてくださいました。三溪園内には 10 の重要文化財があり、うち 6 か所は内苑にあり、そこを案内して下さるとのことでした。

内苑では「御門」からスタートし、「白雲邸」、「臨春閣」、「亭樹」、「春草廬」、「旧天瑞寺寿塔覆堂」、「蓮華堂」と進み

約 1 時間で内苑を一回

りし三溪記念館前に戻りました。このコースでの一番の見所は「臨春閣」で、ガイドさんの詳細な説明を受けたのち「臨春閣」をバックに記念撮影をしました。園内の「鶴翔閣」は結婚式場も営んでいます。3組の新婚さんが庭で記念撮影を行っており大いに微笑ましく感じました。

我々はガイドさんと別れ、中央広場の「雁ガ音茶屋」に立寄りビールと蕎麦の昼食をいただきました。午後は 2 班に分かれ、若手(75 歳以下)は山道を登り「旧燈明寺三重塔」を見学。しかし重文に指定されているものの多くがメンテナンスされていないのはちょっと残念でした。

他のグループは三溪記念館に立ち寄り、三溪の自筆の書画や下村観山をはじめゆかりの作家の作品をゆっくり見学し、さらに池の花菖蒲を鑑賞してから園を後にしました。

恒例の 2 次会はバスで桜木町駅に向かい、「キリンシティ」で美味しいビールとスペイン料理をいただき次回の訪問先を相談しながら散会。一日楽しいハイキングでした。



ガイドさんの説明を聞く参加者



(当日の参加者)

石川、遠藤、水野、瀧本、宮崎夫妻、
村岡、稲葉(藤沢)、田淵(藤沢)
小澤、児浦 以上 11 名
(幹事 遠藤、児浦)

カラオケ同好会からのお知らせ

毎月第 3 水曜日 14:00~17:00 (遅参、早退自由です)

カラオケスナック「ウィズユウ」大和市南林間 1-10-17

セントラルビル 2 階 046-273-1773

初めての方は駅から連絡ください。迎えに行きます。

南林間駅西口横浜信金斜向い 児浦義文 046-274-0628

koura0114@jcom.home.ne.jp

詩吟の会が発足しました

本年 6 月「稲門やまと詩吟の会」が発足しました。当稲門会の菟場直一副幹事長が会長さんです。菟場会長は「岳精会」という国内有数の詩吟グループで奥伝（師範のこと）として活躍しております。



例会は毎月 1 回(第 4 水曜日に)開催、8 月末で 3 回目を数えます。現在会員は 11 名で、前記岳精会から参加する方々にコンダクター(伴奏者)や指導をいただきながら一緒に練習しております。

場所はその都度案内しますがシリウス内の「生涯学習センター」で主に練習しております。

例会では岳精会の「宗家信条」「岳精会会詩」の朗読に続き、発声練習、基本となる吟唱を行った後、有名な漢詩から詩吟の練習を行っております。第 1~3 回は頼山陽の「川中島」、4 回目からはさらに石川丈山の「富士山」を加えて練習する予定です。詩吟の原点は呼吸(腹式呼吸)にあり、腹筋を鍛え姿勢を正し、その結果、血行が良くなりストレス解消、老化防止につながると云われています。

一度やってみたいと思われる方は、見学だけでも歓迎しますので下記世話人までご連絡ください。当会ホームページに例会の様様を毎回掲載いたしております。

連絡先 会長 菟場直一 電話 046-275 2764

携帯 080-1135-7603

世話人 児浦義文 電話 046-274-0628

携帯 090-9333-4479

Eメール koura0114@jcom.home.ne.jp



イ ベ ン ト 予 告

神奈川県支部大会(茅ヶ崎稲門会主幹)

1. 日 時 平成 30 年 11 月 3 日(土)
 - (1) 神奈川県支部大会 (14:30~)
 - (2) 講演会: 音楽評論家「宮治淳一」氏
(54 年法卒)
 - (3) 懇親会: (17:30~)
2. 場 所: 寒川神社参集殿
JR 相模線宮山駅徒歩 6 分
3. 会 費: 校友 一万円・同伴者 八千円

2018 稲門際

「私たちには同じ血が流れている」

- ・日程 : 2018 年 10 月 21 日(日)
- ・ホームカミングデー式典
(本年度は大隈講堂にて開催)
- ・卒業年次別の会(式典終了後)
- ・稲門祭アトラクション
- ・恒例の抽選会もあります

第 25 回大和稲門会総会 平成 30 年度

下記要領にて平成 30 年度・第 25 回大和稲門会総会が開催されますので、ご案内申し上げます。公私ともご多忙とは存じますが是非ご出席下さるようお願い致します。多数の方の出席、お待ちしております。

1. 日 時 平成 30 年 11 月 10 日 (日) (受付開始：午後 4 時 20 分)

- (1) 午後 4 時 30 分 総 会
- (2) 午後 5 時 10 分 講 演
(衆議院議員「甘利 明氏」 「中国について思うこと」)
- (3) 午後 6 時 10 分 懇親会

2. 会 場 横浜うかい亭

大和市つきみ野 6-5-2 046-276-5252 東急田園都市線「つきみ野駅」徒歩 15 分、
小田急線・東急田園都市線「中央林間駅」徒歩 20 分、タクシー 5 分)

3. 申 込 10 月 24 日(水)までに 出欠の有無を同封の葉書にてご返送下さい。

- (1) 総会出席の場合は、懇親会費 10000 円、年会費 3000 円の計 13000 円を当日ご持参いただくか、または同封の振込用紙にてお振込み下さるようお願い致します。
- (2) 総会欠席の場合は、年会費 3000 円を振込用紙にてお振込み下さるようお願い致します。(既にお振込頂いた方は不要です)

大和稲門会ゴルフコンペのご案内

- 1、開催月日 平成 30 年 10 月 26 日 (金)
- 2、開催場所 東名厚木カントリー倶楽部
2 4 3 - 0 3 0 8 神奈川県愛甲郡愛川町三増 2 6 0 7
TEL 0 4 6 - 2 8 1 - 2 1 2 1
- 3、スタート 7 時 30 分 インスタート ウェスト
- 4、集合時間 7 時
- 5、プレイ費 1 0, 8 0 0 円 (食事付)
- 6、参加費 3, 0 0 0 円 (賞品代及びパーティー代)

幹事 遠藤廣 (2 9 3 - 7 4 7 3)
関根実 (2 6 1 - 8 2 1 0)

大和稲門会 秋のハイキング参加募集

今回は、小金井公園内にある「江戸東京たてもの園」を主に紅葉の名所である小金井公園の紅葉を楽しむと共に時間があれば玉川上水の散策も行いたいと思っております。皆様是非ご参加ください。

日時 11 月 20 日(火)

散策地 小金井公園内

- 江戸東京たてもの園 都内にあった江戸時代から戦後までの文化的価値の高い建造物が復元展示されています。所要時間 2 時間程度
高橋是清邸他著名人の建物等 40 棟

入場料 400 円但し 65 歳以上 200 円

- 公園内散策・・・紅葉の名所です
- 玉川上水・・・時間があれば公園に隣接の玉川上水を少し散策。
- 昼食は建物園内で摂ることを予定しています

集合時間 東小金井駅 10:30 集合 10:40 発ココバス乗車 6 分 (大和より 1.5 時間程度)

帰路はバスで武蔵小金井駅向い武蔵小金井駅経由で帰る予定です。

連絡先 遠藤 廣 046-293-7473

児浦義文 046-274-0628

平成 29 年度下期事務局便り (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

1 現会員数 計 82 名

2. 活動状況

(1) 会員動向

- ・ 30. 5. 15 早慶ゴルフコンペ
- ・ 30. 5. 29 春のハイキング (横浜・三溪園)
- ・ 30. 9. 9 家族バーベキュー大会
- ・ 30. 9. 29 代議員大会
- ・ 30. 10. 1 「稲門やまと」発行

(2) 県下支部会等

- ・ 30. 4. 28 相模原稲門会総会出席
- ・ 30. 5. 19 伊勢原稲門会総会出席
- ・ 30. 5. 26 小田原稲門会総会出席
- ・ 30. 6. 2 横浜稲門会総会出席
- ・ 30. 6. 9 大和三田会総会出席
- ・ 30. 6. 9 逗葉稲門会総会出席
- ・ 30. 6. 10 大和白門会設立総会出席
- ・ 30. 6. 16 横須賀三浦稲門会総会出席
- ・ 30. 7. 2 神奈川県支部役員会出席
- ・ 30. 8. 4 相模原稲門会納涼の会出席
- ・ 30. 9. 19 神奈川県支部幹事長・事務局長会議出席

(3) 幹事会

- ・ 30. 7. 14 幹事会
- ・ 30. 9. 6 幹事会

年会費納入についてのお願い (平成 30 年 9 月)

当稲門会では会員の皆様から年額 3 千円の会費を納入いただき、「稲門やまと」の発行(年 2 回)費用をはじめ当会の運営費に充当させていただいております。

下記の「年会費の納入状況」につきましては、今年度(29 年度)までの年会費をいただいた方を掲載させていただきます。未納入の方は郵便振込票にて納入戴きたく宜しくお願い申し上げます。

会費納入に関して疑問の点等がありましたら会計担当の児浦宛電話、Eメールにてご連絡ください。

会計担当 児浦義文 自宅電話 046-274-0628 Eメール koura0114@jcom.home.ne.jp

年会費納入状況 (30 年 8 月末日現在)

29 年度(今年度)までの会費をいただいている方

中 晃 石川 公弘 遠藤 廣 大澤 孝征 加藤 裕之 児浦 義文 小林美佐子 迫田幾太郎
 関根 実 瀧本 幸男 菟場 直一 深井 伸治 藤川 千鶴 眞鍋 藤正 町田 浩文 三重野省二郎
 水野 昂子 宮崎 顕 村岡 猛 横沢 和信 渡辺 伸明

さらに30年度以降分の会費もいただいている方

石井 稔夫 岩本 武夫 碓井 敦子 遠藤三紀夫 大澤 善勝 太田 勝人 小澤 重晴 加藤 英雄
 加藤 敬一 橋川 泰 北沢 寛 國方 隆 小坂 悟 小島 達之 佐藤 逸郎 柴田 哲也
 清水美加子 鈴木 信義 高田 博 土橋 仁志 中丸 敬治 中西 剛 古木 敏幸 保坂 保
 遊佐 喜弘

以上 46 名 以上のほか匿名希望の方 1 名あり合計 47 名

(上記は順不同、敬称は省略させていただいております)

編 集 後 記

日頃、会員の皆様には、大和稲門会活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

当会の活動状況につきましては、本広報誌「稲門やまと」において年 2 回、概要をご報告申し上げるとともに、年 1 回の通常総会、定期的な役員会の他、当会のホームページにおいても随時ご案内いたしております。

皆様におかれましては、これらの情報をもとに神奈川県支部並びに支部傘下の各地区稲門会の活動への参加を戴き、広く校友会員との親睦を図り、また母校の発展に暖かい支援をおくるなど些かなりとも貢献していただく契機としていただきたいと思います。

9 月 9 日には家族バーベキュー大会を、ゴルフ大会(年 2 回)、ハイキング(年 2 回)、カラオケ同好会(毎月)、パソコン教室(月 2 回)等を開催、本年 7 月より新たに「詩吟の会」(毎月)がスタートしました。これからもまた生活を豊かにする活動の広がりを図りたいと考えております。

特に来年度の当稲門会は創立 25 周年を迎えます。当会活動の一層の充実を図るべく準備を進めたいと考えております。各種の活動に参加することも重要ですが、自らの経験を活かすことや新しいことに挑戦して活動の幅を広げてみることも自らの生活を充実させることになりませんか。

多くの方のご参加を戴きたくよろしく願いいたします。



今年の稲門祭は 10 月 21 日 (日) です
(写真は 2015 年度撮影)